

授業科目

介護過程IV

担当教員名 吉田 輝美	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。

授業の目的

- 1 利用者の自立に向けた介護過程の展開及び利用者の状態・状況に応じた介護過程を、それぞれのケースに応じて展開できる。
- 2 介護過程とチームアプローチの関連性と実際について学ぶ。

学習目標

- 1) 利用者の状態・状況に応じた介護計画を立案するため、的確に情報収集ができる。
- 2) 収集した情報を、介護の視点から整理することができる。
- 3) 整理された情報を適切に解釈・分析することができる。
- 4) 解釈・分析によって明らかになったことからニーズを導き出すことができる。
- 5) 目標を設定し、ケア項目を立案することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
2	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
3	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
4	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
5	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
6	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
7	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
8	介護実習2において展開した介護過程の振り返りを行う。	演習	吉田 輝美
9	介護過程発表	演習	吉田 輝美
10	介護過程発表	演習	吉田 輝美
11	発表内容の振り返り	演習	吉田 輝美
12	新たな介護計画の作成	演習	吉田 輝美
13	新たな介護計画の作成	演習	吉田 輝美
14	新たな介護計画の作成	演習	吉田 輝美
15	まとめ		吉田 輝美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	事例で読み解く介護過程の展開	森繁樹	中央法規出版	2016年		前年度購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート・授業態度・グループワークへの参加状況

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること